

1993年春地球惑星科学関連学会合同大会 と合同シンポジウムの御案内

地球科学・惑星科学関連の諸学会の間で、年1回合同で学会大会・講演会を開催する試みが1990年より始められ、第4回合同大会が1993年3月19日(金)~22日(月)に都立大で開かれます。これまでの合同大会では地球・惑星科学関連諸学会にまたがるテーマが共通セッションや合同シンポジウムの形で追究され、大変成功を収めてきました。今回は、地球・惑星科学から天文分野におよぶ学際的テーマとして、合同シンポジウム「地球・惑星・太陽・宇宙における電磁流体のダイナミクス」を企画し天文学会も共催することになりました。シンポジウムは招待講演で構成され、内容は以下の通りです。

日時：1993年3月21日(日)午前9:30~13:00

場所：東京都立大学教養部

(八王子市南大沢：

京王線南大沢駅より徒歩)

地球・惑星ダイナモ

松島政貴(東工大理地球惑星)

電磁流体乱流理論からの示唆：Cross Helicity
ダイナモ 吉澤 徹(東大生産技研)

磁力線再結合と地球・惑星磁気圏ダイナミクス
前沢 洸(名大理物理)

金星・火星と太陽風の相互作用

丸橋克英(通信総合研)

銀河・星間空間における電磁流体現象

花輪和幸(名大理物理)

太陽における電磁流体現象(Yohkohの結果から)

常田佐久(東大理天文教育センター)

他の共催学会 地球電磁気・地球惑星圏学会、

日本惑星科学会、地震学会

コンピーナー 寺沢敏夫、柴田一成、本蔵義守

天文教養講座「Cosmological Distance Ladder」へのお誘い

天文学のいわゆる最前線で、非常に活発でにぎやかな論議が展開されている今日このごろです。ややもすれば、忙しすぎて天文学の Fundamentals から遊離してしまい、議論の空転に陥りそうな不安を感じます。そこで、わが国の天文学の足腰を更に強くするために、プロを自認する私共にとってもときどき初心に立ち返って、天文学の Fundamentals のよって来るところや、それらの信頼性・任意性を整理する必要があるかと思えます。

そこで、テーマとして「Cosmological Distance Ladder」を選び、例えば NATO summer School や Saas-Fee Advanced Course のような集中 Review 方式の天文学の Fundamentals に関する勉強会を下記のように企画してみました。この企画が、底力のある研究をさらに多く派生し、大学院生の教育にも寄与できることを期待しています。旅費援助はできませんが、多くの方々の御参加を期待しています。なお、講義録は広く利用していただけるよう出版する予定です。

記

開催期日：平成5年3月15日(月)~17日(水)

開催場所：国立天文台(三鷹)講義室

講師：交渉中

主なテーマ(1テーマ当たり約1時間)：

地球赤道半径⇒天文単位⇒三角視差⇒統計・永年視差⇒運動星団の距離⇒分光・測光視差⇒変光星の周期・光度関係⇒球状星団の距離⇒近傍銀河の距離⇒新星・超新星の光度⇒Tully-Fischer 関係⇒Hubble 定数⇒パネルディスカッション

世話人：宮本昌典 福島登志夫

国立天文台 位置天文・天体力学研究系

〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1

Fax 0422-32-1924

第1回『ライン X 線・ガンマ線による天体物理』研究会案内

日時 1993年3月9日(火)
9時半-18時:18時一懇親会
1993年3月10日(水) 9時半-18時
場所 東京大学(本郷)・山上会館・大会議室
内容 1993年度より4年間の予定で発足することになった重点領域研究『ライン X 線・ガンマ線による天体物理』をどのように推進していくかの討論と、1991年度で修了した重点領域研究『超新星残骸からの硬 X 線、ガンマ線の研究』のとりまとめを行う。
○ライン X 線の研究○ガンマ線バーストにおけるラインガンマ線の研究○ラインガンマ線の研究○天体でのライン X 線ガンマ線放射の理論研究
連絡先 〒113 東京都文京区弥生2-11-18
東京大学理学部天文学教室 野本憲一
電話 03-3812-2111 内線 4255
FAX 03-3813-9439
E-mail:
nomoto@apsun1.astron.s.u-tokyo.ac.jp

三菱財団自然科学研究助成公募

- 1 創造的、かつ先駆的研究で、その国際的発展に先導的役割を担う萌芽ともなる研究に助成を行う。本年度は、下記の分野を重点として助成の対象と致しますが、独創的なものはそれ以外の研究でも積極的にとりあげられます。
- 2 重点対象分野
 - (1) 実験方法の開発・改良に関する研究
 - (2) 工学における境界分野の基礎研究
 - (3) 新しい工学的システムとデバイスの基礎研究
 - (4) 宇宙・地球規模の環境に関する基礎研究

- (5) 新物質、新材料の作製と物性に関する基礎研究
- (6) 生物活性物質・生体機能物質の基礎研究
- (7) 発生系における分化と遺伝子発現の制御に関する研究

3 助成の金額と期間

イ. 総額3億円を予定、1件2千万円以内(本年度は30件程度を目標とします)

ロ. 期間は1年を原則とします。

4 応募方法

所定の申込書に必要事項をご記入の上、正一通、副五通(コピー)を当財団宛ご送付願います。

6 応募締切日

平成5年3月2日(火) 必着

7 申込書送付先

財団法人 三菱財団

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビルディング15階)

電話 東京(03)3214-5754

アサヒ・フェローシップ(朝日国際奨励金)の公募

外国国籍をもつ、将来性ある学者、芸術家、ジャーナリストらに日本国内での研究活動の機会を与えることで、日本理解を深めてもらい併せて人と人との交流により国際間の協調に寄与する。

原則として当年の月から1年間、採用者数は3、4人を予定しています。

応募締め切りは1993年分については2月28日までの到着分とする。

問い合わせ先: 〒104-11 東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞社文化企画局企画第二部

アサヒ・フェローシップ事務局

電話 03-3545-0131 内54213

FAX 03-3543-3280

担当者 小野八巻